

キャリア教育講演会～51歳の挑戦～

7月16日(水)の午後にキャリア教育講演会を実施しました。小学校5・6年生と中学校全学年が体育館で講演を聞きました。講師は、四万十トラベル社員の下西 誠さんです。下西さんは小学校3年生から野球を始め、中村中、中村高校と野球漬けの生活を送り甲子園出場を目指してきました。残念ながら甲子園に出場する夢は叶いませんでしたが、その後も大学で野球を続けました。大学卒業後は、高校の先輩に高野連の審判への誘いを受けますが、ずっと断っていたそうです。しかし息子が小学校入学と同時に野球を始めたことをきっかけに、下西さんも審判について深く学ぶようになったとのこと。そして、51歳の時に選手として甲子園出場はできなかったけれど、審判員として夢の甲子園に出場できたそうです。子どもの頃からあこがれていた甲子園に選手としてではなかったけれど、審判として出場できたことは、感慨もひとしおだったと思います。みなさんも、夢を持ち日々努力し、諦めなければ夢に近づけるのではないのでしょうか。必ず頑張っている姿は誰かの目に留まりますよ。



一学期終了!

4月7日に、26名の新入生を迎え、全校生徒 74 名で令和7年度の大月中学校がスタートしました。早いもので、今日で一学期が終了しました。一学期を振り返ってみてどうだったでしょうか。始業式で今年度の学校教育目標について話しました。「人を大切に～聴く・全力・感謝～」という学校教育目標に向けて、みなさんに期待する行動について話をしましたがどうでしたか。「人を大切に」ということは、まず相手の存在を認め、相手の方を見てしっかり「聴く」ことから始まります。授業中に先生や友達の話をしっかり聴き、自分事として考え、自分の意見が言えることは素晴らしいことです。そうすることで、学力の定着につながります。夏季休業中の三者面談で今学期の一人一人の頑張りが、評価されて返ってきます。自分の頑張りが成績に反映していた人、頑張ったけれども思うような結果ではなかった人、それぞれだと思います。いつも言うことですが、理解できていないところをそのままにしないこと、先生に聞くなり、友達に聞くなりして、克服していかないと困るのは自分です。中学校卒業後の進路に向けて、日々の取り組みを大切にしていきましょう。

校長先生が4月からみなさんの取り組んでいる様子を見て、よくなってきたなと感じるのは「挨拶」です。最初は元気がなく、少し心配しましたが、気持ちの良い挨拶ができる人が増えてきました。大変うれしく思います。良いことはどんどん増やしていきましょう。今後のみなさんの行動に期待しています。

さて、いよいよ明日から44日間の夏休みが始まります。この夏休みは74名の生徒のみなさんに平等に与えられています。自分の取り組み次第で、どんな夏休みにでもすることができます。生活リズムに気をつけて、充実した夏休みにしましょう。そのために次の点に注意してください。

- ◇規則正しい生活をし、健康に気をつける。
- ◇宿題は早めに終わらせる。(後回しにしない)
- ◇1・2年生は一学期の復習をし、理解が不十分なところの理解を深める。3年生は、受験に向けての準備を計画的に実施する。(夏を制したものは受験を制する)
- ◇長期休業中にしかできないことに取り組む。(何か1つでも考えてみてはどうでしょうか)

※以上の点に注意して、9月1日にみんなで元気に良い二学期のスタートをきりましょう。